

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 防災ヘリコプター運航委託費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 防災航空係 電話番号：058-385-3772

E-mail：kokul@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 189,967 千円 (前年度予算額： 194,181 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	194,181	0	0	0	0	0	0	0	194,181
要求額	189,967	0	0	0	0	0	0	0	189,967
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

若鮎Ⅲについては、県職員として操縦士、整備士を採用し自主運航を行っているが、若鮎Ⅰについては、操縦、整備の技術と資格を有する航空機運航業者に業務を委託することで運航を行っている。

(2) 事業内容

ア 民間運航会社に運航を委託する防災ヘリコプター「若鮎Ⅰ」の運航管理業務委託内容は以下のとおり。

- ・操縦(操縦士2人：耐空検査・定期点検後の試験飛行を含む)
- ・整備点検(整備士2人：日々の点検や中間点検の実施。耐空検査・定期点検の中間検査及び領収検査の立会い)
- ・運航管理(運航オペレータ1人：飛行計画の提出、飛行情報の把握)
- ・管理施設(格納庫、管理事務所、資機材置場、駐車場)の確保・管理

イ 委託の時間

- ・土日祝祭日を含む年間365日間
- ・運航時間は8時30分から17時15分まで(5月15日～8月15日は8時30分から18時15分まで)。ただし、緊急運航時は日の出から日没まで。

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県所有の防災ヘリコプターの運用は県の業務であることから県が負担する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	189,967	若鮎 I の運航委託費
合計	189,967	

決定額の考え方

--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県民の生命・財産を守るため、ヘリコプターの優れた機動性を活かし、救急搬送活動、捜索救助活動、林野火災における空中消火活動や災害情報の収集など、多岐にわたる消防防災業務を県内の消防機関と連携して行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R-)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R-)	達成率
①年間運航時間		203時間	300時間	300時間	300時間	68%

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 [令和3年度の「若鮎I」緊急運航実績] <合計80件></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">(1) 火災防ぎよ</td> <td style="width: 33%;">12件</td> <td style="width: 33%;">(4) 広域消防航空応援</td> <td style="width: 33%;">0件</td> </tr> <tr> <td>(2) 捜索救助</td> <td>37件</td> <td>(5) 航空消防相互応援</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>(3) 救急搬送</td> <td>28件</td> <td>(6) 災害応急対策</td> <td>0件</td> </tr> </table> <p>林野火災における空中消火活動、山岳・水難事故における捜索救助活動、自然災害における偵察、情報収集及び救急搬送（転院搬送など）活動や、他県の消防防災活動の応援など、ヘリコプターの機動性を活かし消防機関の活動に幅広く貢献している。また、市町村防災訓練への参加や、不法投棄監視パトロールなどの行政利用も実施している。</p>	(1) 火災防ぎよ	12件	(4) 広域消防航空応援	0件	(2) 捜索救助	37件	(5) 航空消防相互応援	3件	(3) 救急搬送	28件	(6) 災害応急対策	0件
(1) 火災防ぎよ	12件	(4) 広域消防航空応援	0件										
(2) 捜索救助	37件	(5) 航空消防相互応援	3件										
(3) 救急搬送	28件	(6) 災害応急対策	0件										
令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 [令和4年度の「若鮎I」緊急運航実績] <合計80件></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">(1) 火災防ぎよ</td> <td style="width: 33%;">12件</td> <td style="width: 33%;">(4) 広域消防航空応援</td> <td style="width: 33%;">0件</td> </tr> <tr> <td>(2) 捜索救助</td> <td>37件</td> <td>(5) 航空消防相互応援</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>(3) 救急搬送</td> <td>28件</td> <td>(6) 災害応急対策</td> <td>0件</td> </tr> </table> <p>林野火災における空中消火活動、山岳・水難事故における捜索救助活動、自然災害における偵察、情報収集及び救急搬送（転院搬送など）活動や、他県の消防防災活動の応援など、ヘリコプターの機動性を活かし消防機関の活動に幅広く貢献している。また、市町村防災訓練への参加や、不法投棄監視パトロールなどの行政利用も実施している。</p>	(1) 火災防ぎよ	12件	(4) 広域消防航空応援	0件	(2) 捜索救助	37件	(5) 航空消防相互応援	3件	(3) 救急搬送	28件	(6) 災害応急対策	0件
(1) 火災防ぎよ	12件	(4) 広域消防航空応援	0件										
(2) 捜索救助	37件	(5) 航空消防相互応援	3件										
(3) 救急搬送	28件	(6) 災害応急対策	0件										

令和5年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	県民の生命・財産を守るために防災ヘリコプターが果たす役割は大きく、事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	令和3年度において45件の緊急運航を実施しており、防災ヘリコプターでなければできない活動を行っている。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	災害現場において、防災ヘリコプターによる安全かつ迅速な活動が行えるよう訓練を実施している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 引き続き民間運航会社との緊密な連携を図ることで、防災ヘリコプターのさらなる安全運航に努める。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 消防機関、医療機関、警察航空隊との連携訓練等を実施することにより、緊急運航の安全かつ迅速な対応につなげる。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	